



ピョートル・チャイコフスキー
エウゲニ・オネーギン

Eugene Onegin / Pyotr Tchaikovsky

2024年1月24日(水)～2月3日(土)

会場:新国立劇場 オペラパレス



『エウゲニ・オネーギン』2019年公演より

この上なく甘美な音楽が綴る、愛のすれ違い。チャイコフスキーの代表作

2019/2020 シーズン開幕作品として新制作し大評判となったチャイコフスキーの甘美なオペラ『エウゲニ・オネーギン』がオペラパレスへ戻ってきます。プーシキン原作の男女のすれ違いの物語がチャイコフスキーならではの叙情豊かな音楽で綴られ、オペラファンならずとも心を動かされる名作です。前半の若者たちの人間模様と、終幕で公爵夫人となったタチヤーナとオネーギンの絶望とのコントラストの演出も鮮やかで、美しい美術・衣裳も相まって感動を誘います。

世界トップソプラノ、エカテリーナ・シウリーナらロシア・オペラのスペシャリストが集結

出演者では、世界トップソプラノのひとりエカテリーナ・シウリーナの新国立劇場初登場が話題。今もっとも人気のあるリリック・ソプラノが、タチヤーナ役のロールデビューを飾ります。実力派バリトンとして頭角を現しオネーギン役を得意とするユーリ・ユルチュク、欧州主要歌劇場を席卷するメゾ、アンナ・ゴリャチョワ、ドイツをはじめ欧米で活躍するヴィクトル・アンティベンコらロシア・オペラのスペシャリストが集まります。指揮はコンサート、オペラ双方で活躍し、フランクフルト歌劇場などに出演を重ねる俊英ヴァレンティン・ウリュピンが新国立劇場初登場です。

<資料のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail: takanashi_y1307@nntt.jac.go.jp

チャイコフスキーの代表作『エウゲニ・オネーギン』

2019/2020 シーズン開幕作品として、大野和士芸術監督のロシア・オペラ新制作の第1弾として上演したチャイコフスキーの甘美なオペラ『エウゲニ・オネーギン』を再演します。『エウゲニ・オネーギン』はロシア・オペラの中でも最もポピュラーな作品であり、華麗な管弦楽やバレエ音楽でおなじみのチャイコフスキーの叙情性が存分に味わえる傑作です。原作は帝政ロシア貴族社会の男女の行き違いを描いた、プーシキンの格調高い韻文小説。ニヒルな知識人オネーギン、夢見がちな少女タチヤーナらの若者たちが愛と絶望、死に直面する物語が、チャイコフスキーならではの甘美な音楽で綴られ、誰しも胸打たれます。「手紙の歌」や「青春は遠く過ぎ去り」、終幕の華麗なポロネーズなどは単独で演奏されることも多い人気曲です。

ドミトリー・ベルトマンの演出はロシア近代演劇の祖・スタニスラフスキー演出をモチーフとしたもので、スタニスラフスキーのリアリズムを踏まえ、現代的な視点で人物を自然に生き活きと動かします。序盤のロシアの地方貴族の人間模様と、サンクトペテルブルクの公爵夫人となったタチヤーナとオネーギンの絶望を描く終幕とのコントラストも鮮やかで、美しい美術・衣裳も大好評です。



ロシア・オペラのスペシャリストが集結

出演者では、ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座などで主演を重ねる世界トップソプラノ、エカテリーナ・シウリーナの新国立劇場初登場が話題。オペラパレスでタチヤーナ役のロールデビューを飾ります。そしてオネーギンにはヨーロッパで実力派バリトンとして頭角を現し、モネ劇場などで同役を歌っているユーリ・ユルチュク、オリガ役にウィーン、チューリヒなど主要歌劇場を席巻するメゾソプラノ、アンナ・ゴリャチョワ、レンスキーに欧米で活躍を拡げる強力なテノール、ヴィクトル・アンティペンコらロシア・オペラのスペシャリストが集まります。指揮はコンサート、オペラ双方で活躍し、ペルミ歌劇場ムジカ・エテルナ、フランクフルト歌劇場などに出演を重ねるヴァレンティン・ウリュープインが新国立劇場初登場です。



＜「エウゲニ・オネーギン」あらすじ＞

19世紀ロシア。女地主の娘タチヤーナは、妹オリガの恋人レンスキーが連れてきたオネーギンに強く惹かれる。募る想いを手紙に託すもののオネーギンは相手にしない。舞踏会でオネーギンはオリガとばかり踊るため、レンスキーの嫉妬を買ひ、決闘にまで発展する。レンスキーを殺害したオネーギンは、自責の念から放浪の旅に出る。数年後、今や公爵夫人となったタチヤーナの前にオネーギンが現れ、以前とは逆に熱い恋心を打ち明けるが、タチヤーナは彼の気持ちを拒むのだった。

＜主要キャスト・スタッフプロフィール＞

【指揮】ヴァレンティン・ウリュープイン

ウクライナ東部ロソバヤ出身。モスクワ音楽院で学び、指揮者として活躍する前にクラリネット奏者として20以上の国際コンクールを制し、国際的な演奏活動を行っていた経歴を持つ。2017年ショルティ国際指揮者コンクール優勝。2015年から21年までロストフ交響楽団芸術監督を務め、ロシア有数のオーケストラに育てる。21年～22年、モスクワ・ノーヴァヤ・オペラ首席指揮者兼芸術監督。在任中に『死の都』『サンドリオン』を指揮。コンサート、オペラ双方でオーケストラや歌劇場と密接な関係を築いており、今シーズンはウィーン放送交響楽団、フランクフルト歌劇場、トリノ王立歌劇場、スロヴェニア・フィルハーモニック管弦楽団、ザールブリュッケン・カイザー・スラウテルン・ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団へ再登場。ハノーファー歌劇場、ベルリン州立歌劇場、ロッテルダム・フィルなどへデビューする。これまでにウィーン交響

Valentin URYUPIN



楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、新日本フィル、南西ドイツ放送交響楽団、トスカーナ管弦楽団などに客演。オペラではシュトゥットガルト歌劇場『3つのオレンジへの恋』、ブレゲンツ音楽祭『エウゲニ・オネーギン』『シベリア』で成功を収め、フランクフルト歌劇場、エルル・チロル音楽祭にも出演を重ねる。新国立劇場初登場。

【演出】ドミトリー・ベルトマン

Dmitry BERTMAN

モスクワ生まれ。ロシア舞台芸術アカデミーでオペラ演出を学ぶ。1990年23歳の時にモスクワでヘリコン・オペラを創立、すぐにロシアで最も有名なオペラカンパニーのひとつの地位を確立する。ヘリコン・オペラでの約120のプロダクションのほか、国内外でロシア作品や世界初演作品を含め多くのプロダクションを演出しており、カナディアン・オペラ・カンパニー、スウェーデン王立ドラマ劇場、マリンスキー劇場、ラトヴィア国立歌劇場、ローマ歌劇場、エストニア劇場、フィンランド国立歌劇場、モスクワ・N.I. サツツ記念子供音楽劇場、マシー歌劇場、ライン・ドイツ・オペラ、マンハイム州立劇場、ウィーン・フォルクスオーパー、ニュージーランド歌劇場、リセウ大劇場などで演出。2005年、ロシア連邦人民芸術家となる。98年、99年、01年、ロシア劇場連合"ゴールデンマスク賞"受賞。03年、04年、05年、劇場労働者組合"シーズン優秀作品賞"、05年スタニスラフスキー賞、07年モスクワ市賞、08年エストニア賞およびエストニア劇場組合賞、ロシア・フレンドシップ勲章、フランス教育功労章オフィシエなど受賞多数。ロシア舞台芸術アカデミー教授。



【タチヤーナ】エカテリーナ・シウリーナ(ソプラノ)

Ekaterina SIURINA

ロシア出身。モスクワのロシア舞台芸術アカデミーで学び、ノーヴァヤ・オペラでデビュー後、瞬く間に欧米の主要音楽祭や歌劇場に出演するようになり、2003年にウィーン国立歌劇場、英国ロイヤルオペラ、06年にメトロポリタン歌劇場へデビュー。これまでに、ウィーン国立歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナ、英国ロイヤルオペラ『魔笛』パミーナ、『リゴレット』ジルダ、バイエルン州立歌劇場、ピッツバーグ・オペラ、グラインドボーン音楽祭、ベルリン州立歌劇場、ハンブルク州立歌劇場で『愛の妙薬』アディーナ、パリ・オペラ座とミラノ・スカラ座で『フィガロの結婚』スザンナ、ザルツブルク音楽祭『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、カナディアン・オペラ・カンパニー『椿姫』ヴィオレッタ、ヴェローナ野外音楽祭『リゴレット』ジルダなどに出演。最近の出演には、バイエルン州立歌劇場『愛の妙薬』アディーナ、『ファルスタッフ』ナンネッタ、ウィーン国立歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナ、『椿姫』ヴィオレッタ、英国ロイヤルオペラ『ラ・ボエーム』ミミ、ピッツバーグ・オペラ『ルサルカ』タイトルロールなどがある。新国立劇場初登場。



【オネーギン】ユーリ・ユルチュク(バリトン)

Yuriy YURCHUK

キーウ出身。シカゴのデポール大学音楽学校で声楽を学ぶ。2013年『ラ・ボエーム』マルチェッロでデビュー。14年から16年まで英国ロイヤルオペラのジェット・パーカー・プログラムに在籍し『トスカ』アンジェロツェッティ、『椿姫』ドゥフオール男爵、『ラ・ボエーム』マルチェッロなどに出演。北アイルランドオペラ、チューリヒ歌劇場、オペラ・ノース『ラ・ボエーム』マルチェッロ、チェルシー・オペラ『アンドレア・シェニエ』ジェラルド、ウクライナ国立歌劇場『エウゲニ・オネーギン』タイトルロール、チューリヒ歌劇場『マノン・レスコー』レスコー、シカゴ・リリック・オペラ『ファルスタッフ』フォード、ウェックスフォード・オペラ・フェスティバル『マルゲリータ』ロドルフォ伯爵などにも出演。最近では、モネ劇場、デンマーク王立歌劇場『エウゲニ・オネーギン』タイトルロール、英国ロイヤルオペラ、チューリヒ歌劇場『ラ・ボエーム』マルチェッロ、チューリヒ歌劇場『マノン』レスコーなどに出演している。経済学、会計学の学位も持つ。新国立劇場初登場。



【レンスキー】ヴィクトル・アンティペンコ(テノール)

Viktor ANTIPENKO

サンクトペテルブルク生まれ。ドラマティックな役柄で活躍するテノール。グリーンカ・コーラル・カレッジ、サンクトペテルブルク音楽院、フィラデルフィア声楽アカデミーで学ぶ。これまでに、ボリショイ劇場、オビエド・オペラ、バーデン州立歌劇場、サンフランシスコ・オペラ、テアトロ・ムニシパル、リヨン歌劇場などで『ニュルンベルクのマイスタージンガー』ヴァルター、『ローエン格林』タイトルロール、『エウゲニ・オネーギン』レンスキー、『スペードの女王』ヘルマン、『ラ・ジョコンダ』エンツォ、『マクベス』マルコム、『ボリス・ゴドゥノフ』グリゴリー、『さまよえるオランダ人』エリックなどに出演。最近では、カナディアン・オペラ・カンパニー『パルジファル』タイトルロール、ドルトムント歌劇場『ワルキューレ』ジークムント、スコティッシュ・オペラ『外套』ルイージ、カンザス・リリック・オペラ、アリゾナ・オペラ『カルメン』ドン・ホセ、メトロポリタン歌劇場『蝶々夫人』ピンカートン、イスラエル・オペラ『アイーダ』ラダメス、パシフィック・オペラ・ヴィクトリア『ワルキューレ』ジークムントなどに出演している。新国立劇場初登場。



【オリガ】アンナ・ゴリャチョワ(メゾソプラノ)**Anna GORYACHOVA**

ロシア出身。サンクトペテルブルクの音楽院で学び、ローマのサンタ・チェチーリア音楽院でレナータ・スコットのもと研鑽を積む。2012年から17年までチューリヒ歌劇場専属歌手として『ドン・ジョヴァンニ』『ツェルリーナ』『スペードの女王』ポリーナ、『セビリアの理髪師』ロジーナなど多くの役に出演した。19年からボリショイ劇場ゲストソリスト。オランダ国立オペラ、パリ・オペラ座、フィレンツェ歌劇場、ボローニャ歌劇場、デンマーク王立歌劇場、ローマ歌劇場、サン・カルロ歌劇場、テアトロ・レアル、英国ロイヤルオペラ、ヴェローナ音楽祭などで『スペードの女王』ポリーナ、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ、『ランスへの旅』メリベア侯爵夫人、『ノルマ』アダルジザ、『カルメン』タイトルロール、『チェネントラ』アンジェリーナなどに出演。最近では、ウィーン国立歌劇場『チェネントラ』アンジェリーナ、『エウゲニ・オネーギン』オリガ、『カルメン』タイトルロール、チューリヒ歌劇場『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ、『ロベルト・デヴェリユー』サラ、バイエルン州立歌劇場『チェネントラ』アンジェリーナ、フランダース・オペラ『皇帝ティトの慈悲』セストなどに出演している。新国立劇場初登場。

**【グレーミン公爵】アレクサンドル・ツィムバリユク(バス)****Alexander TSYMBALYUK**

ウクライナ出身。バイエルン州立歌劇場『ボリス・ゴドゥノフ』タイトルロールに出演、世界トップ歌劇場で同役を史上最年少で演じた歌手となる。2003年にオデーサ国立音楽院で声楽の修士号を取得し、数々の国際コンクールで優勝。ハンブルク州立歌劇場オペラスタジオ、専属歌手を経て、メトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座、バイエルン州立歌劇場、パリ・オペラ座、バレンシア歌劇場、英国ロイヤルオペラ、リセウ大劇場、フィレンツェ歌劇場などに出演を重ねる。これまでに、バイエルン州立歌劇場『ムツェンスク郡のマクベス夫人』司祭、『ルチア』ライモンド、『トゥーランドット』ティムール、『エウゲニ・オネーギン』グレーミン公爵、『フィガロの結婚』バルトロ、『ラインの黄金』ファゾルト、英国ロイヤルオペラ『イル・トロヴァトーレ』フェルランド、パリ・オペラ座『ドン・ジョヴァンニ』騎士長、シカゴ・リリック・オペラ『リゴレット』スパラフチーレ、メトロポリタン歌劇場『トゥーランドット』ティムール、ハンブルク州立歌劇場『エウゲニ・オネーギン』グレーミン公爵、ウィーン国立歌劇場『ボリス・ゴドゥノフ』タイトルロールなどに出演している。新国立劇場初登場。

**【ラーリナ】郷家暁子(メゾソプラノ)****GOKE Akiko**

東京藝術大学、同大学院修士課程オペラ専攻修了。学部卒業時に同声会賞、アカンサス音楽賞受賞。二期会研修所マスタークラス修了時、優秀賞及び奨励賞を受賞。藝大オペラ定期公演『皇帝ティトの慈悲』セストでデビュー。これまでに、『アポロンとヒヤキントス』アポロン、『セビリアの理髪師』ロジーナ、『ナクソス島のアリアドネ』作曲家、『カルメン』タイトルロール、日生劇場『ヘンゼルとグレーテル』ヘンゼル、二期会ニューウェーブオペラ『アルチャーナ』ブラダマンテ、二期会『金閣寺』娼婦、『修道女アンジェリカ』修練女長、『ルル』ギムナジウムの学生、『こうもり』オルロフスキー、『フィガロの結婚』ケルビーノに出演。2022年には東京・春・音楽祭『ローエン格林』小姓、二期会『パルジファル』小姓/花の乙女に出演。「第九」をはじめ、モーツァルト「レクイエム」、ヘンデル「メサイア」などで大阪フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、テレマン協会などと共演している。二期会会員。新国立劇場では本年10月『修道女アンジェリカ』修道女長に出演した。

**【フィリッピエヴァ】橋爪ゆか(メゾソプラノ)****HASHIZUME Yuka**

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。在学中にアルトからソプラノへ転向。同大学大学院オペラ科修了。文化庁オペラ研修所修了。文化庁派遣在外研修員としてウィーン留学。二期会『魔弾の射手』(演奏会形式)アガータで本格的デビュー。多くのオペラ、コンサートで活躍し、二期会『ワルキューレ』ジークリンデ、『こうもり』ロザリンデ、『オルフェオとエウリディーチェ』エウリディーチェ、『さまよえるオランダ人』ゼンタ、『パルジファル』クンドリー、東京オペラプロデュース『二人のフォスカリ』ルクレツィア・コンタリーニ、メノッティ『ブリーカー街の聖母マリア』アンニーナなどに出演。2021年にメゾソプラノへ転向。新国立劇場では、オペラ鑑賞教室『蝶々夫人』タイトルロール、『さまよえるオランダ人』(演奏会形式)ゼンタ、『ジークフリート』ハイライトコンサートブリュンヒルデ、『神々の黄昏』ノルンⅢなどに出演。また『ワルキューレ』『ジークフリート』『神々の黄昏』ブリュンヒルデ、『フィデリオ』レオノーレ、『エウゲニ・オネーギン』タチヤーナ、『タンホイザー』ヴェーヌスなどでカバーを務めている。二期会会員。



新国立劇場 2023/2024 シーズン オペラ
ピョートル・チャイコフスキー エウゲニ・オネーギン 全3幕 〈ロシア語上演〉
〈日本語及び英語字幕付〉
Eugene Onegin / Pyotr Tchaikovsky

【公演日程】 2024年1月24日(水)18:30/27日(土)14:00/31日(水)14:00/2月3日(土)14:00

【会場】 新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】 S:29,700円・A:24,200円・B:17,600円・C:11,000円・D:7,700円・Z:1,650円

※予定上演時間 約3時間5分(休憩含む)

| | | | |
|------------------|-------------------|-------------------------|----------------------|
| 指揮 | ヴァレンティン・ウリュープイン | タチヤーナ | エカテリーナ・シウリーナ |
| Conductor | Valentin URYUPIN | Tatyana | Ekaterina SIURINA |
| 演出 | ドミトリー・ベルトマン | オネーギン | ユーリ・ユルチュク |
| Production | Dmitry BERTMAN | Eugene (Yevgeny) Onegin | Yuriy YURCHUK |
| 美術 | イゴール・ネジニー | レンスキー | ヴィクトル・アンティペンコ |
| Set Design | Igor NEZHNY | Vladimir Lensky | Viktor ANTIPENKO |
| 衣裳 | タチアーナ・トゥルビエワ | オリガ | アンナ・ゴリャチョワ |
| Costume Design | Tatiana TULUBIEVA | Olga | Anna GORYACHOVA |
| 照明 | デニス・エニユコフ | グレーミン公爵 | アレクサンドル・ツィムバリュク |
| Lighting Design | Denis ENYUKOV | Prince Gremin | Alexander TSYMBALYUK |
| 振付 | エドワルド・スミルノフ | ラーリナ | 郷家暁子 |
| Choreographer | Edvald SMIRNOV | Madama Larina | GOKE Akiko |
| 再演演出 | 澤田康子 | フィリッピエヴナ | 橋爪ゆか |
| Revival Director | SAWADA Yasuko | Filipyevna | HASHIZUME Yuka |
| 舞台監督 | 高橋尚史 | ザレツキー | ヴィタリ・ユシュマノフ |
| Stage Manager | TAKAHASHI Naohito | Zaretsky | Vitaly YUSHMANOV |
| | | トリケ | 升島唯博 |
| | | Monsieur Triquet | MASUJIMA Tadahiro |
| | | 隊長 | 成田 眞 |
| | | A Captain | NARITA Makoto |

| | |
|---------------|-----------------------------|
| 合唱指揮 | 富平恭平 |
| Chorus Master | TOMIHIRA Kyohei |
| 合唱 | 新国立劇場合唱団 |
| Chorus | New National Theatre Chorus |
| 管弦楽 | 東京交響楽団 |
| Orchestra | Tokyo Symphony Orchestra |

| | |
|-------------------|-------------|
| 芸術監督 | 大野和士 |
| Artistic Director | ONO Kazushi |

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/eugeneonegin/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】 新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00~18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://nntt.pia.jp/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

* Z席 1,650円:公演当日朝10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引(20%)、高齢者割引、障害者割引、学生割引、当日学生割引(50%)など各種割引あり。* 未就学児入場不可。

本公演はレパートリー作品です。過去の上演の舞台写真を宣材としてご提供致します。



【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】

新国立劇場『エウゲニ・オネーギン』2019年公演より 撮影:寺司正彦